

令和4年第4回定例会一般質問通告事項

	<p>柿本和彦議員（平成会）</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
<p>9 月 8 日</p>	<p>1 尾道市海域にある放置艇対策について</p> <p>(1) 令和3年度、令和4年度で開催予定だった使用料徴収等に関する説明会はどの程度進んでいるのか</p> <p>(2) 船体番号等から船舶登録事項調査を行い、国土交通省に照会して所有者を調べる作業はどの程度進んでいるのか</p> <p>(3) 現在、放置艇として見なされているプレジャーボートは暫定係留区域の指定によって、現状のまま係留できるのか</p> <p>(4) 東南海・南海地震の発生確率を考えた際、早期の対策が求められる課題であると思うがどう考えるか</p> <p>(5) 放置艇の調査により所有者が判明すれば、東南海・南海地震の発生確率を考えた際、廃船については早急に処分していくことが必要だと考えるがどうか</p> <p>2 公民館を軸としたまちづくりについて</p> <p>(1) 尾道市の公民館では地域住民のつながりづくりや地域課題に取り組む講座をどの程度実施しているか</p> <p>(2) 尾道市の公民館において、地域住民のつながりづくりや地域課題に取り組む講座を更に拡充するよう取り組む計画があるか。そうした講座に受講者が集まるようどのような工夫をしているか</p> <p>(3) 尾道市の公民館に居ながら地域課題の調査や研究が可能になるよう、公民館に無料Wi-Fiを設置してはどうか。若者が集いやすい環境にもなると考えるがどう思うか</p> <p>(4) 若者が公民館に興味を示すように、公民館にニックネームを付けるというアイデアはどうか</p> <p>(5) 旧市町によって公民館活動に温度差があるように思うが、そのことについてどのように考えているか</p> <p>(6) 公民館ごとに予算配分を行い、社会課題を解決するような公民館活動を助成してはどうか</p> <p>(7) 市内全域でコミュニティスクールの指定を目指すのに合わせ、公民館として社会に開かれた教育課程を創設し、学校教育と連携・融合してはどうか</p>	

<p>9 月 8 日</p>	<p>3 社会教育委員制度について</p> <p>(1) 国立教育政策研究所が社会教育委員会議の活性化度を確認するチェックリストを作成しているが、尾道市の社会教育委員会議を評価すると活性化状況はどのようになると思うか</p> <p>(2) 社会教育委員制度の今後について、尾道市ではどのような方針を持っているか</p> <p>(3) 尾道市には社会教育委員が何名いるのか。その内、女性の社会教育委員は何名か</p> <p>(4) 尾道市の社会教育委員に任期や年齢制限はあるか</p> <p>(5) 尾道市では社会教育委員の選任・委嘱をどのように行っているか。あて職は何名いるか</p> <p>(6) 尾道市では社会教育委員に委嘱する際、役割を正確・的確に認識していただくために、どのような方法で説明しているか</p>
----------------------------	--